

現地で空き家の現況調査

5万8100人の特派員で全国対応

ナビット

データの調査、販売事業を手掛けるナビット

(東京都千代田区)は、空き家の状況、物件の持ち主情報などを収集し、『空き家オーナーリスト』としての販売を2月8日に開始した。

2年ほど前に東京都豊島区の空き家の現状調査をした際に、夫婦それぞれの親の家を空き家のま

ま所有している、兄弟で継続したため空き家のまま放置してある、耐震基準を満たせず空き家バンクに登録できないなど、

空き家の実態を知ったことが今回の事業につながった。

同社に登録する全国5万8100人の地域特派員が、現地で空き家の状況を見て現況のレポートと写真でリスト化する。リスト1件あたり170

0円から(税別)。さらに空き家の所有者事項の追加は1件で500円(税別)。

個人情報に関しては、公開されている登記情報からの取得で、個人情報保護委員会に必要な届出書を提出済みのため安心だ。

他に、同社が開発した専用の調査ツールソフトの貸し出しも行っている。地図情報上の家の形

が実際の家の形をしている点の特長だ。

調査し

てほしい地域だ。昭和56年以降

の物件のみ、定期的のみ毎月10件ずつなど個別のり

クエストにも応募することができる。現在は、不動産会社などからの問い合わせや、それ以外には信用金庫からの問い合わせが多いという。

ナビットの空き家調査指標

空き家判定指標	外観	○廃屋風(住人の気配がない) ●判定不能
	表札	○有り ●無し
	雨戸	○全部締切り ○一部締切り ●締切りなし
	電気メーター	●動いていない ○動いている ○判定不能
	郵便受け	○塞がれている ○郵便物などがたまっている ●郵便物などがたまっていない ○判定不能
	生活のサイン	●洗濯物がない ○洗濯物がある ●家庭用品が見えない ○家庭用品が見える ●鉢植えや植栽がない ○鉢植えや植栽がある

◀「空き家オーナーリスト」調査結果表の一部

同社の福井泰代社長は「初年度は1000件の調査が目標。継続対策、空き家の活用、リフォームや融資への活用需要などがあると考えている」と語った。